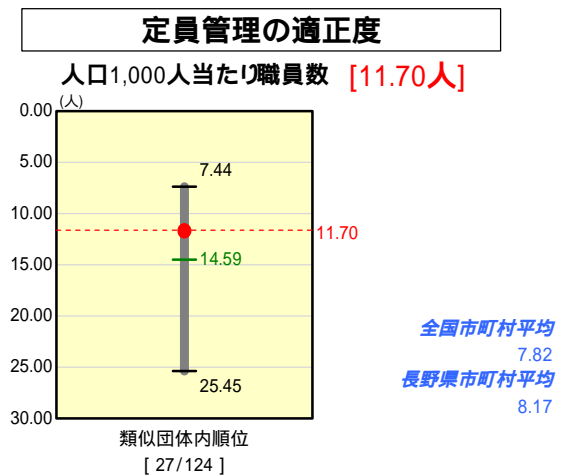
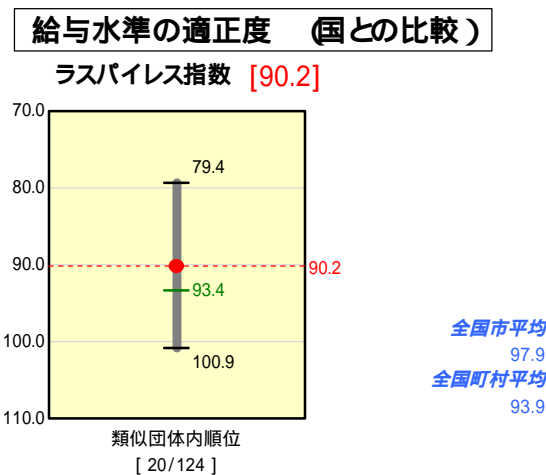
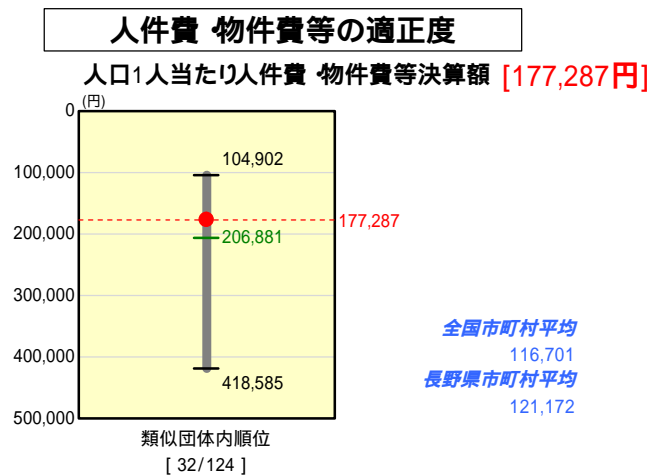
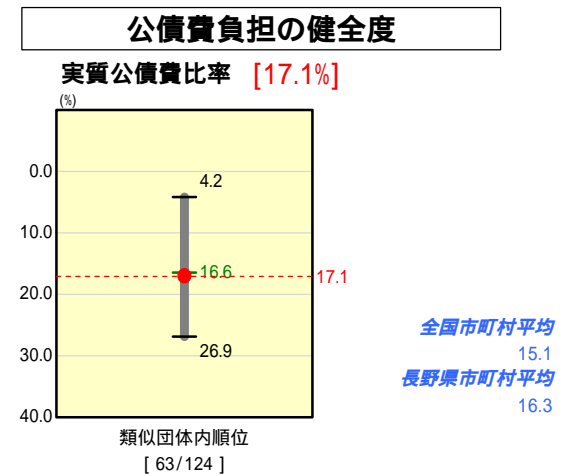
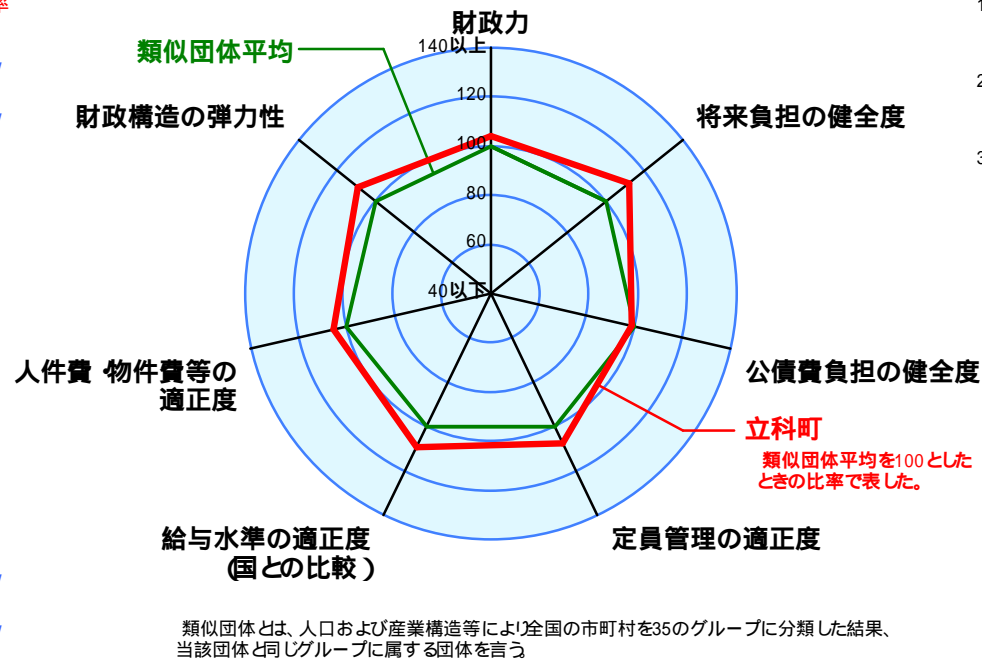
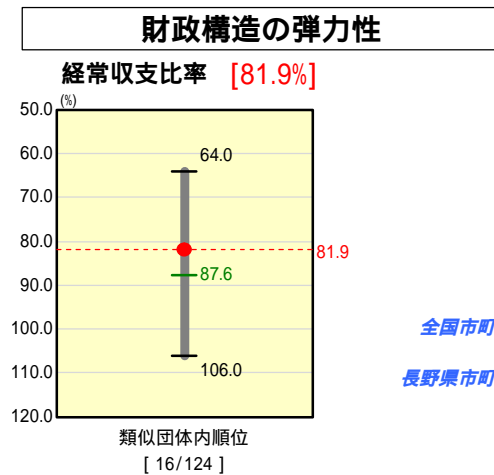
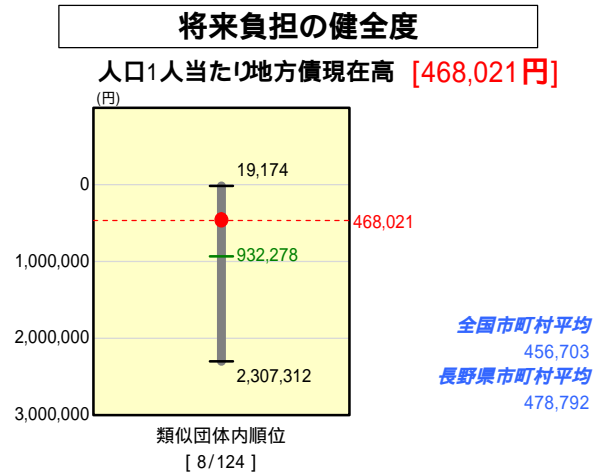
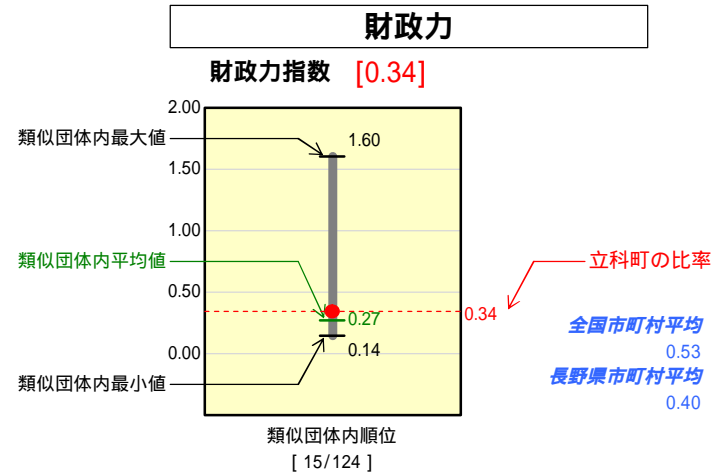


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 立科町

人口	8,291	人(H19.3.31現在)
面積	66.82	km ²
歳入総額	4,236,796	千円
歳出総額	3,976,443	千円
実質収支	250,404	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数： 人口の減少や高齢化が進んでいること、また、農業・観光を中心とした産業が低迷していることから財政基盤の向上は見込めない状況である。町税等の徴収体制強化を図り、自立計画に基づく協働のまちづくりにより財政の健全化を図る。

経常収支比率： 職員・理事者・議員等の人件費の削減や各種団体補助金の減額等により歳出の削減を図っているが、分母となる一般財源が伸び悩んでおり、小幅な比率減となっている。

ラスパイレズ指数： 自立計画に基づき、平成17年度から職員給与の削減を実施していること、また、平成18年度の給与制度改正により職員給与が抑制となったこと等により、低水準(90.2)となっている。

実質公債費比率： 過去の起債償還のため、類似団体を上回っているが、平成19年度をピークに減少へと転じる見込みである。なお、当町の比率が前年度より大幅に上昇(6.0%)しているが、これは算定方法が変更され、自治体から一部事務組合等への繰出金(公債費に係るもの)についても自治体の借金返済額として追加算入されたことによるものである。

人口1人当たり： 今後、地方債残高は減少するが、人口も減少傾向にあるため、緩やかな減少となる見込みである。

人口1,000人： 当町は、白樺高原観光地や別荘地を抱えているため、職員数の一律比較は難しいが、ここ数年間は退職者不補充により職員数が減となっている。今後も退職者に伴う職員数の減が見込まれている。

人口1人当たり： 人件費は、職員・理事者・議員等の給与削減や職員の退職者不補充により抑制となり、物件費は、各種委託料の見直し等により経費削減を図っている。